

特集

子どもたちの夏休み研修事業

沖縄



▲沖縄到着の日は首里城を見学

▼児童代表が花を供えました



▲平和祈念公園の「ふくしまの塔」に献花

村では、「いいたてまでいな復興計画」の基本方針の5つの柱のひとつに「子どもたちの未来をつくる」を掲げ、子どもたちの教育環境の整備や健康を守ることを復興計画に盛り込んでいます。この計画を推進するためのひとつとして、村は子どもたちの体験学習・校外学習を積極的に取り組んでいます。

この取り組みとして、今年の夏休みは、小学6年生を対象にした「生命と地球 沖縄でのまでいの旅」、中学生を対象とした「未来への翼 in イタリア」と「飯館村中学生夏休みオーストラリア研修旅行」の3つの研修事業が村主催で行われました。

避難生活から一時解放され、沖縄や海外でたくさんの体験をしてきた子どもたち。それぞれの夏休みの研修事業のようすをお伝えします。

今年も小学6年生対象の「生命と地球 沖縄でのまでいの旅」が7月22日から25日までの3泊4日の日程で行われました。今回は、草野・飯樋・白石小学校から39人、村外の小学校へ転校した児童6人の合計45人が参加。沖縄の歴史や自然に触れ、命の大切さ・平和の尊さ・感謝の心を学ぶことを目的に行われました。

初日、仙台空港から飛行機で沖縄についた一行は、首里城を見学し、沖縄の歴史に触れました。続く2日目は、平和祈念公

生命と地球 沖縄でのまでいの旅

7 / 22 ~ 7 / 25

沖縄県での思い出

菅野 美奈

沖縄での思い出は、社会でも勉強した首里城に行ったこと、平和の礎見学、グラスポート体験、海水浴、美ら海水族館、チビチリガマ、シムクガマ見学です。

この中でも、とても印象が強いのは、グラスポート体験、美ら海水族館、チビチリガマ、シムクガマ見学です。グラスポート体験では、福島県で見れない魚をたくさん見ることができました。美ら海水族館では、ジンベエザメがすごく大きくて迫力がすごかったです。チンアナゴ、ニシキアナゴ、イラブーがかわいかったです。チビチリガマ、シムクガマ見学では、チビチリガマには人骨がありました。花を献花したとき、命を大切にしなければいけないと思いました。それと、英語は大切だなと思いました。だから、頑張っ勉強してしゃべれるようになりたいです。



▶集団自決したチビチリガマ前で献花と黙とう



▲シムクガマの中で当時の話を聞きました



▶美ら海水族館のジンベエザメやナンヨウマンタに感動



▶読谷村の子どもたちからエイサーや座喜味棒の演舞が披露されました



▲瑞慶覧基地の中で海兵隊の話を聞きました

3日目は、沖縄戦で集団自決が起きた洞窟、チビチリガマとシムクガマでその悲劇を学んだ後、読谷村で現地の子どもたちと海水浴や文化交流をしました。最終日は、在日米軍基地のキャンプ瑞慶覧を見学。アメリカ軍が東日本大震災の際、被災地での災害救助や復興支援として行った「トモダチ作戦」での海兵隊の支援について説明がありました。